

令和7年度 校区男女共同参画協議会等の活動事例

(令和7年度「校区における男女共同参画をテーマとした取組みの実施状況調査」より)

◇ 取組みが多かったテーマ “ベスト3”

1 男女共同参画について学ぶ研修会・講演会等

※テーマや講師については「研修会・講演会」及び「上映されたDVD等」(いずれも抜粋)を参照。

2 女性の視点で考える防災

3 男性にとっての男女共同参画(男性の家事・育児参画など)

◇ 具体的な活動事例

事例 No	テーマ・タイトル	内 容
1	防災料理教室	非常時に役立つ缶詰や乾物でできるポリ袋調理や、非常食用の長期保存可能なパンや水を入れて作るおにぎりの試食。
2	避難所運営のルールづくりワークショップ	大地震が発生した際に避難所となる小学校体育館での生活ルールについてみんなで考える、防災士によるワークショップ。
3	男性のための「そば打ち体験教室」	準備から後片付けまで、すべて男性が行った。
4	あるある朗読劇	年齢や性別を問わず、普段の生活で起きる自治協やジェンダー関連のあるある話の台本を自分たちで考えて演じた。
5	男(あなた)と女(わたし)の料理教室	男性中心に各町内で料理を作ってもらい、作業工程、試食、後片付けと、一連の作業を体験してもらった。
6	男女共同参画標語の掲示	令和6年度の定例会で作った「標語」を掲示し、来場者による人気投票をした。合わせて男女協の活動報告も掲示。
7	校区文化祭で替え歌披露	男女共同参画について替え歌を作ったので、役員がステージで歌った。来場者には歌詞のプリントを配付し、PR活動を行った。
8	パパがつくるお菓子教室	父の日を前に、パパによるお菓子作り、として校区の子育て中のパパを募集し、調理製菓専門学校の講師の指導でロールケーキを作った。
9	校区文化祭で「男女の視点の木」アンケート	校区文化祭と参画ウィークにあわせて、「男女の視点の木」と題し、視点の違いに目を向けるアンケートを取った。
10	一人暮らしの健康づくりクッキング	健康衛生部会と共催で、一人暮らしになった時に性別に関係なく食事に困らないよう、栄養知識を学び、実際に調理してもらった。

※市の出前講座、参画サポーター講座、「みんなにやさしい防災研修」は除いています。

※掲載している事例のほか、校区では、広報紙の発行、校区イベントでの「参画ウィークののぼり旗」の設置、チラシ・啓発グッズの配布など、男女共同参画推進のための様々な取組みが行われています。

◇ 研修会/講演会 （抜粋） ＊講師の肩書は実施当時のもの。

- ・「DV 被害者支援と加害者対策について」 NPO 法人 DV 対策・予防センター九州 理事長 原健一氏
- ・「『女はいらん』といわれた私って何？」 元西日本新聞論説委員 山形紀子氏
- ・「落語で学ぶ男女共同参画」 アマチュア落語家 粗忽家勘心氏
- ・「報道の現場からみる男女共同参画」 元日本テレビ報道記者 廣瀬祐子氏
- ・「絵本を楽しみまショー！ 主夫経験から子育てのお話とともに」 絵本作家 サトシン氏
- ・「メリハリツッコミ！ 講談を楽しもう！『男装の女医 高場 乱』」 講談師 金印亭恵紅氏
- ・「多様性のパズル「ちがいのちがい」 子どもの学び館アフタースクール館長 福永怜生氏
- ・「アンちゃんを考える多様性」 北九州市立大学准教授 アン・クレシーニ氏
- ・「中学校の男女平等教育」 中学校校長

◇ 上映された DVD 等 （抜粋）

★映画『九十歳、何がめでたい』：90 歳を超えてなおエネルギッシュに世の中の不条理を斬る女性作家の姿を描いたエンターテインメント。世代を超える女性の自立と強さを描く。

★映画『ぼけますから、よろしくお願いします』：認知症になった母と、90 代で介護に挑む父の姿を娘が記録したドキュメンタリー。介護の現場における男性の生活自立、老老介護、家族の絆を描く。

★映画『ファザー』：認知症の父と介護に直面する娘の葛藤を描いた作品。ケア労働（介護）が女性に偏る「ケアのジェンダー不平等」や「仕事と介護の両立」という現代の男女共同参画社会が抱える重要なテーマを浮き彫りにしている。

★DVD『あした咲く』（2017 年制作）：生き方の異なる姉妹（会社員の妹と専業主婦の姉）の葛藤や対話を通じて、性別役割分担や多様な生き方に気づく。

★映画『シヴァランジャニとふたりの女』：インドを舞台に、異なる時代（1980 年代、1990 年代、現代）を生きる 3 人の女性が、家庭内で直面する家父長制や理不尽な抑圧、自我の目覚めを描く。

★映画『バレンタイン－揆』：日本の女の子たちがガーナの児童労働の現実に向かい合うドキュメンタリー。次世代の女性が社会課題の解決に向けて主体的にリーダーシップを発揮し、公正な取引（フェアトレード）を通じて世界的な不平等を見直す。

★DVD『これからの男の生き方！ イクメン・カジダン・共同メン』（平成 23 年度制作）：男性向けの男女共同参画啓発用映像教材。

◇**テーマのヒント！** ※男女共同参画の視点で、次のような研修もできます。

★**介護と男女共同参画**：「介護は女性が担うもの」という固定観念をなくし、性別問わず仕事と両立できる体制や社会の意識を作る（男性の介護参加の促進や介護離職を防ぐための支援について考える）。

★**ユマニチュードと男女共同参画**：ケアの負担を特定の性別（主に女性）に偏らせず、家族や地域全体で分担するための有効な手法であるユマニチュード（コミュニケーションに基づくケア技法）を学び、男性の介護参加の促進や性別役割分担意識の解消をはかる。

★**ユニバーサルデザインと男女共同参画**：性別、年齢、国籍、障がいの有無などに関わらず、すべての人が暮らしやすい社会（誰も排除しないまちづくり）を目指すという共通する理念と目的で、個人の性別や身体的特徴による固定観念（アンコンシャス・バイアス）にとらわれず、一人ひとりの個性やニーズを認める。

参 考

＜男女共同参画に関する講座等の利用について＞

■出前講座 市民局男女共同参画課（TEL 406-7510、fax 526-3766）

■アミカス地域支援事業 市民局事業推進課（TEL 526-3755、fax 526-3766）

☆アミカス2階の図書室で、研修用DVDの貸出を行っています。

※研修用DVDは、各区役所の担当課経由で取り寄せることもできます。

☆アミカスHPから研修用DVD・ビデオのリスト（PDF）が閲覧できます：

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/jigyosuishin/life/amikas/kenshu.html>

→ 地域活動の応援＞研修素材(DVD等)